

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2021.9.30時点)

分類	保管場所	保管容量 ^{※1,2}	保管量 ^{※1}	前回集約からの増減 ^{※3} (2021.8.31 - 2021.9.30)	エリア占有率	保管量/保管容量 ^{※1,2} (割合)	トピックス	
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	A	13,800 m ³	0 m ³	0 m ³	0 %	226600 / 278000 (82%)	<ul style="list-style-type: none"> 一時保管エリアd,eの運用変更により、保管容量増加(7,830m³) (2021年9月22日認可) 主な増減理由 フランジタンク関連工事(エリアC) フランジタンク除染作業(エリアAA)
		B	5,300 m ³	5,300 m ³	0 m ³	100 %		
		C	67,000 m ³	66,800 m ³	+100 m ³	100 %		
		F2	7,500 m ³	6,400 m ³	0 m ³	85 %		
		J	8,000 m ³	6,200 m ³	0 m ³	78 %		
		N	10,000 m ³	9,600 m ³	0 m ³	96 %		
		O	51,400 m ³	44,000 m ³	0 m ³	86 %		
		P1	64,000 m ³	62,600 m ³	0 m ³	98 %		
		U	800 m ³	700 m ³	0 m ³	100 %		
		V	6,000 m ³	6,000 m ³	0 m ³	100 %		
		AA	36,400 m ³	18,900 m ³	+600 m ³	52 %		
	d	1,200 m ³	0 m ³	- m ³	0 %			
	e	6,700 m ³	0 m ³	- m ³	0 %			
	シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	4,500 m ³	2,600 m ³	0 m ³	58 %	40900 / 77400 (53%)	一時保管エリアm,nの運用変更により、保管容量増加(6,390m ³) (2021年9月22日認可)
E1		16,000 m ³	14,600 m ³	0 m ³	91 %			
P2		9,000 m ³	5,900 m ³	0 m ³	65 %			
W		29,300 m ³	9,900 m ³	0 m ³	34 %			
X		12,200 m ³	7,900 m ³	0 m ³	65 %			
m		3,100 m ³	0 m ³	- m ³	0 %			
覆土式一時保管施設、 容器 (1~30mSv/h)	L	16,000 m ³	16,000 m ³	0 m ³	100 %	17900 / 18500 (97%)	一時保管エリアQの解除により保管容量減少(6,100m ³) (2021年9月22日認可)	
	E2 ^{※4}	1,800 m ³	1,200 m ³	微増	68 %			
	F1	700 m ³	600 m ³	0 m ³	99 %			
固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫 ^{※4}	39,600 m ³	25,700 m ³	+100 m ³	65 %	25700 / 39600 (65%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な増減理由 1~4号機建屋周辺関連工事 	
合計(ガレキ)		413,400 m ³	311,200 m ³	+800 m ³	75 %			
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	40,000 m ³	31,200 m ³	0 m ³	78 %	103500 / 134000 (77%)	
		H	43,000 m ³	31,700 m ³	0 m ³	74 %		
		M	45,000 m ³	39,800 m ³	0 m ³	88 %		
		V	6,000 m ³	800 m ³	微増	13 %		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	29,700 m ³	26,200 m ³	0 m ³	88 %	37300 / 41600 (90%)	
T		11,900 m ³	11,100 m ³	0 m ³	94 %			
合計(伐採木)		175,600 m ³	140,800 m ³	微増	80 %			
保護衣	屋外集積	注1 52,500 m ³	31,500 m ³	-1,200 m ³	60 %	31500 / 52500 (60%)	<ul style="list-style-type: none"> 使用済保護衣等焼却量 9,649t(2021年9月末累積) 焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 2,507本(2021年9月末累積) 焼却灰は固体廃棄物貯蔵庫9棟2階に放射性廃棄物として保管 一時保管エリアd,e,m,nの運用変更により保管容量減少(15,800m³) (2021年9月22日認可) 	
合計(使用済保護衣等)		52,500 m ³	31,500 m ³	-1,200 m ³	60 %			

※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある
 ※2 保管容量の記載については、廃棄物管理の適正化の検討を踏まえて見直す
 ※3 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは50m³未満の増減を示す
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む

注1：2021.11.25誤記訂正

訂正前	保管容量	エリア占有率	保管量/保管容量 (割合)	訂正後	保管容量	エリア占有率	保管量/保管容量 (割合)
保護衣	54,100	58%	31500/54100 (58%)	保護衣	52,500	60%	31500/52500 (60%)
合計(使用済保護衣等)	54,100	58%		合計(使用済保護衣等)	52,500	60%	

保管容量減少(14,220m³)

保管容量減少(15,800m³)

仮設集積の管理状況(2021.9.30時点)

分類	場所	保管容量※1		保管量※1		前回集約からの増減※2 (2021.8.31 - 2021.9.30)		エリア占有率	保管量／保管容量※1 (割合)	トピックス
		単位	値	単位	値	単位	値			
仮設集積	①	m ³	3,000	m ³	2,000	—	m ³	67%	56900 / 78000 (73%)	<ul style="list-style-type: none"> 仮設集積場所は工事で発生した不要物品や撤去物を分別、容器収納し、一時保管エリアに移すまで一時的に保管する場所である エリア整理、コンテナ点検に伴い一時保管エリアへの瓦礫等の搬入が停滞しているため、仮設集積が長期化、量が増加している この状況を改善し、廃棄物管理の適正化を図るため、まず、2021年度内にできるだけ固体廃棄物Gの仮設集積場所に仮設集積を集約して管理できるようにする計画である また、一時保管エリアの保管容量を確保し、2022年度内に仮設集積を最小化する計画である 1000m³以下の仮設集積を含めた総エリア数：148箇所 1000m³以下の仮設集積を含めた総保管容量：85,800m³
	②	m ³	3,000	m ³	3,000	—	m ³	100%		
	③	m ³	2,000	m ³	2,000	—	m ³	100%		
	④	m ³	12,000	m ³	6,500	—	m ³	54%		
	⑤	m ³	14,000	m ³	13,800	—	m ³	99%		
	⑥	m ³	4,000	m ³	1,800	—	m ³	45%		
	⑦	m ³	9,000	m ³	3,800	—	m ³	42%		
	⑧	m ³	4,500	m ³	3,500	—	m ³	78%		
	⑨	m ³	1,500	m ³	1,500	—	m ³	100%		
	⑩	m ³	1,600	m ³	600	—	m ³	38%		
	⑪	m ³	2,400	m ³	1,200	—	m ³	50%		
	⑫	m ³	1,800	m ³	1,800	—	m ³	100%		
	⑬	m ³	2,200	m ³	1,200	—	m ³	55%		
	⑭	m ³	2,200	m ³	2,200	—	m ³	100%		
	⑮	m ³	2,000	m ³	2,000	—	m ³	100%		
	⑯	m ³	5,600	m ³	2,800	—	m ³	50%		
	⑰	m ³	7,200	m ³	7,200	—	m ³	100%		

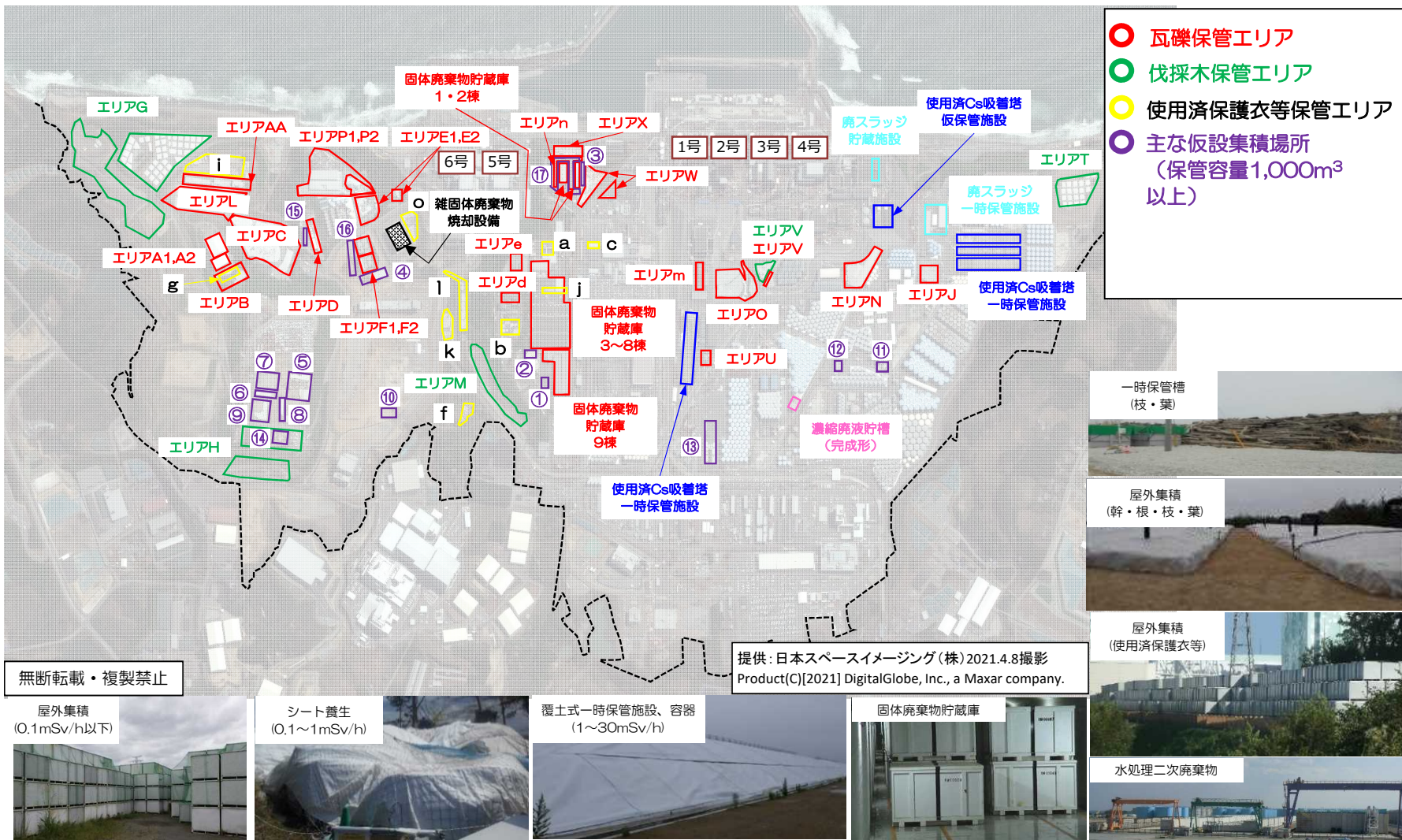
※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある

※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは50m³未満の増減を示す

水処理二次廃棄物の管理状況(2021.9.30時点)

分類	保管場所	種類	保管量		前回集約からの増減 (2021.9.2 - 2021.9.30)		保管量／保管容量 (割合)	トピックス	
			単位	値	単位	値			
水処理二次廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	779	本	0	本	5216 / 6372 (82%)		
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	246	本	0	本			
		第三セシウム吸着装置使用済ベッセル	11	本	0	本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,945	基	0			基
			増設	1,919	基	+7			基
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	83	本	0			本
		多核種除去設備処理カラム	既設	17	塔	0			塔
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		216	本	0	本				
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	442	m ³	0	m ³	442 / 700 (63%)			
濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,380	m ³	-11	m ³	9380 / 10300 (91%)	<ul style="list-style-type: none"> タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内(現場パトロール異常なし) 水位計0%以上の保管量：9,280[m³] タンク底部～水位計の保管量(DS)：約100[m³] 		

福島第一原子力発電所 固体廃棄物等保管エリアの構内配置図



無断転載・複製禁止

屋外集積
(0.1mSv/h以下)



シート養生
(0.1~1mSv/h)



覆土式一時保管施設、容器
(1~30mSv/h)



固体廃棄物貯蔵庫



一時保管槽
(枝・葉)



屋外集積
(幹・根・枝・葉)



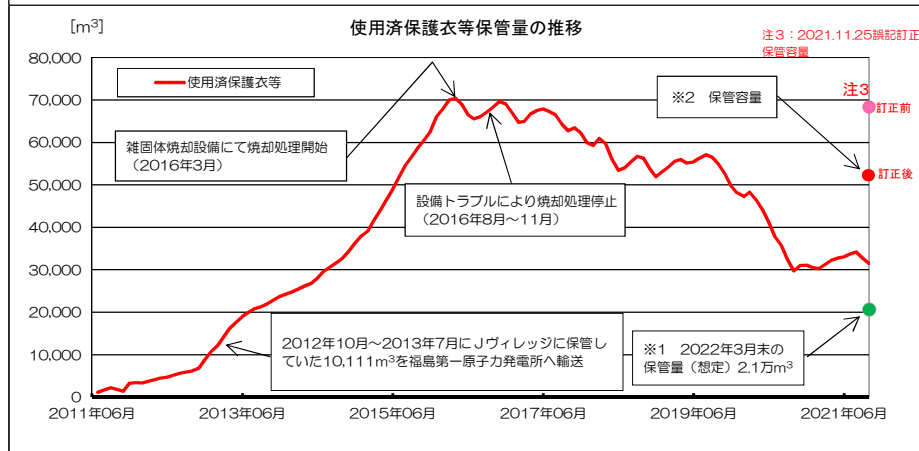
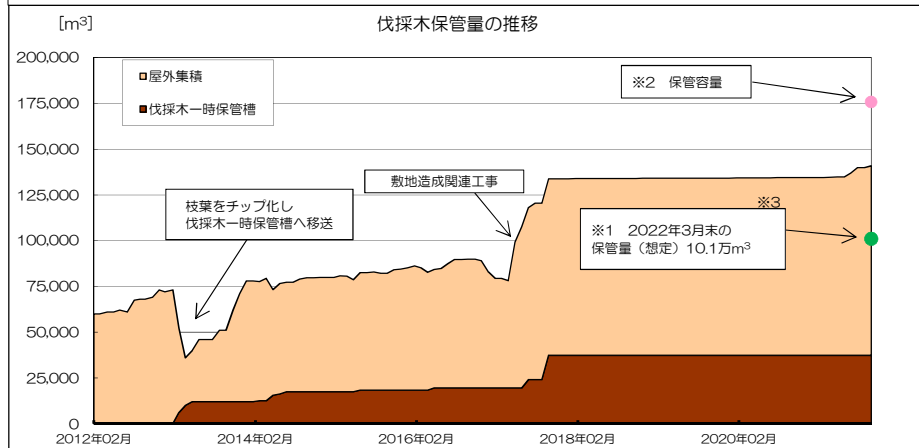
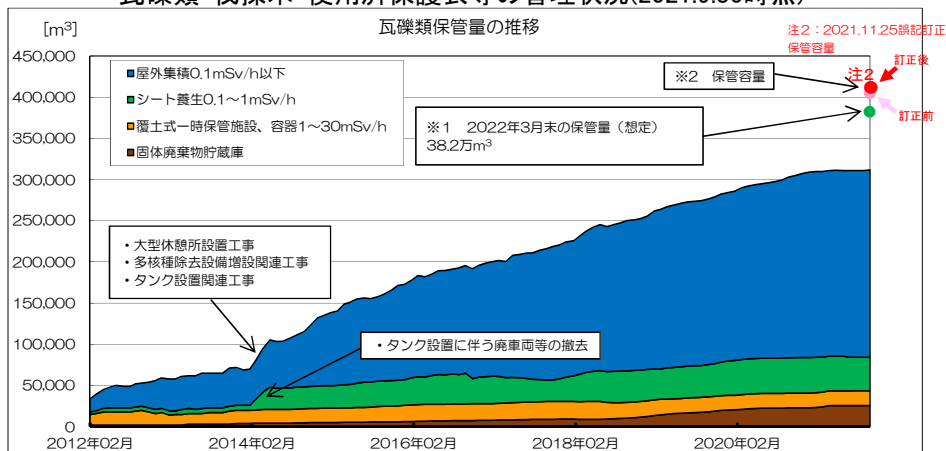
屋外集積
(使用済保護衣等)



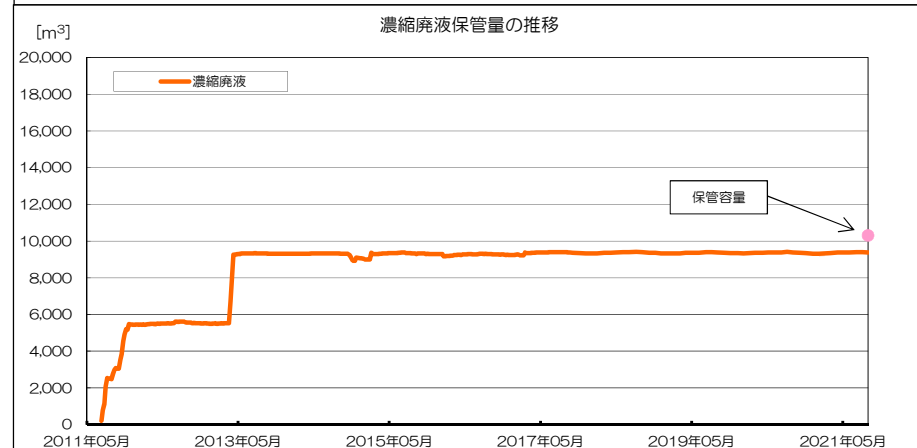
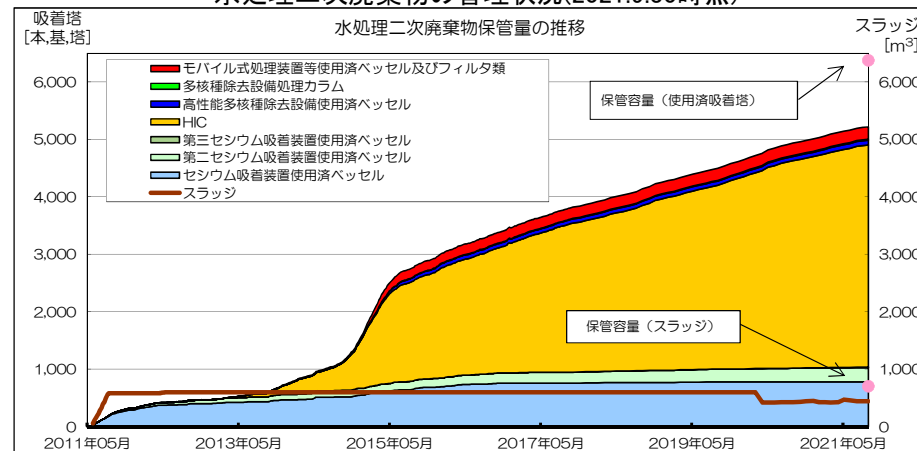
水処理二次廃棄物



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2021.9.30時点)



水処理二次廃棄物の管理状況(2021.9.30時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2021年9月22日認可)の予測値を示す
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す
 ※3 増設雑固体廃棄物焼却設備の竣工遅れに伴い見直し予定